

金沢ささえあいプラン (第4期計画)の進め方

1 計画の推進体制

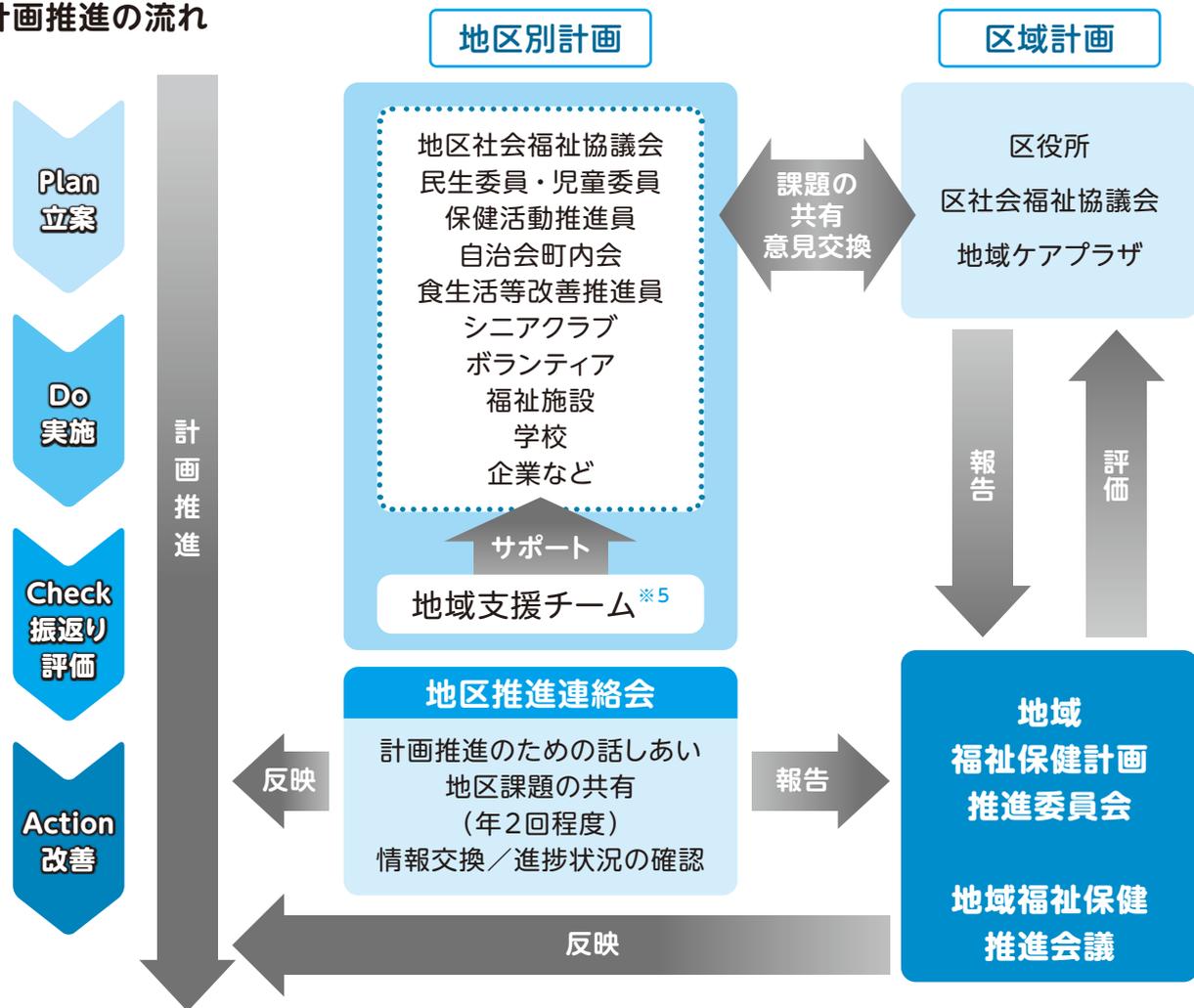
「区域計画」の推進に向けては、地域・区役所・区社協・地域ケアプラザ等がそれぞれの役割を確認しながら協働して取り組んでいきます。

区内14地区の「地区別計画」は、「地域支援チーム^{※5}」がサポートしながら、地域に暮らす方や活動している方が主体となって推進していきます。

また、「区域計画」と「地区別計画」は毎年振り返りを行いながら各機関が連携して推進していきます。

取組の成果は、区内の福祉保健に携わる関係者や学識経験者等による地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議で報告し、評価を受けながら次年度以降の活動に反映させます。

計画推進の流れ



※5 地域支援チームとその役割

金沢区では、地域情報の共有及び課題の解決を図ることを目的に、区役所・区社協・地域ケアプラザの職員によるチームを構成しています。チームは14の連合自治会町内会の単位及びLINKAI横浜金沢に置かれ、地域と協働して地区別計画の策定・推進や地域力向上に向けた支援等を行います。

(※) LINKAI横浜金沢では、「金沢臨海部産業活性化プラン」で地域の目指す姿等を定めています。

2 各機関の役割

(1) 区役所

区域計画の策定・推進の中心的な役割を担います。推進にあたっては、個別支援を通して把握した地域の課題や潜在的な課題も認識しながら取組を進めます。また、部や課を越えた連携による分野横断的な「地域と向き合う体制」を整備し、地区別計画の策定・推進等の地域支援に取り組みます。



(2) 区社協

個別支援(一人ひとりの困りごとの解決等)と地域支援(住民同士のつながりや支えあい活動等の支援)を連動させながら、区社協の事業や会員をはじめとしたネットワークを通して、地域課題を把握し、地域住民や社会福祉関係者等の参加・協力を得ながら、その解決の仕組みづくりを進めていくことで地域福祉保健計画の推進に取り組みます。

(3) 地域ケアプラザ

地域の身近な福祉活動の拠点として、区域計画及び地区別計画の策定・推進について区役所・区社協とともに取り組みます。また、業務や地域とのつながりを通して把握した地域課題の解決に向けた活動や、地域の中での見守りや支えあう仕組みづくりを行う等、地域支援の中核的な役割を担います。

用語解説

■地区推進連絡会

地域に暮らす方が主体となって開催する、身近な地域の様々な生活課題の解決に向けて話しあう場です。テーマに応じて学校・警察・消防・NPO法人・商店街等の関係機関が集まり、区内14の各連合町内会の単位で年2回程度開催しています。また地区別計画の推進母体にも位置づけられています。



■地域福祉保健計画推進委員会

福祉・保健・医療団体関係者及び有識者で構成し、地域福祉保健計画の策定・推進・評価について意見交換を行う委員会です。

■地域福祉保健推進会議

金沢区における福祉・保健・医療の連携及び総合的なサービスの円滑な推進に向けて、関係機関の代表者に意見を求める会議です。